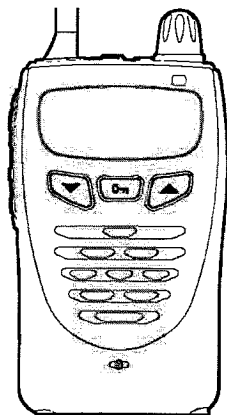


特定小電力ハンディトランシーバー
(総務省技術基準適合品)

DJ-PA20 取扱説明書

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。



アルインコ株式会社

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
	危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
	△記号は、注意(危険・警告含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容が描かれています。
	○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合はACアダプターをコンセントから抜け)が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意



警告

■使用環境・条件

- 自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 運転者が使用するときは車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯型無線機を運転者が走行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。
- 電子機器(特に医療機器)の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
- 内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください(電源も入れないでください)。運行の安全や無線機の運用、放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となります。
- この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。



この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。



この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。



この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。



指定以外のオプションや他社のアクセサリ製品を接続しないでください。故障の原因となります。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

- イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。
- このトランシーバーは調整済みです。特定小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更することは法律で禁止されています。

安全上のご注意

- 布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。
- 水をかけたり、水が入ったりしないよう、またぬらすないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。
- 水などでぬれやすい場所(風呂場など)では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 充電器の取り扱いについて**
- 指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 充電器のACプラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。
- めれた手で充電器のACアダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 充電器のACアダプターを、ACコンセントに確実に差し込んでください。ACアダプターの刃に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。
- 充電器のACアダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。
- 安定化電源の使用について**
- 指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 安定化電源の電源プラグと他の製品の電源プラグをタコ足配線しないでください。
- めれた手で安定化電源の電源プラグに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 安定化電源の電源プラグをACコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。
- DCCケーブルを加工したり、ヒューズホルダーを取り除いて使用することは、絶対にしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

■シガーライターケーブルの使用について

- ぬれた手でシガーライターケーブルに触れないでください。感電の原因となります。
- 弊社指定のシガーライターケーブルをお使いください。指定以外のものを使うと、火災、感電、故障の原因となります。

■異常時の処置について

- 以下の場合、すぐ本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービス窓口にご連絡ください。お客様による修理は、違法です。絶対にお止めください。

■異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
 ■落としたり、ケースを破損したりしたとき
 ■内部に水や異物が入ったとき
 ■ACアダプターのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

- 雷が降り出したら、安全のため本体の電源をOFFにし、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■保守・点検

- 本体や充電器のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。

! 注意

■使用環境・条件

- テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
- 湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

3

- 調理台や加温器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

- アンテナを誤って目などにささないようにしてください。
- イヤホン/マイクロホン端子にはオプションのイヤホン/マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。

■充電器の取り扱いについて

- 充電器のACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ずACアダプターを持って抜いてください。
- 充電器のACアダプターを熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

4

■保守・点検

- お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

- 汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質する恐れがあります。

■外部電源使用時の注意

- 本機に外部電源を接続する場合には、必ずオプションのACアダプター（EDC-122）を使用し、本体上面にあるDC電源ジャックに直接接続してください。

- 車のシガーソケットから電源を取る場合には、オプションのシガーDC/DCコンバーター（EDH-33）をご使用ください。

- 外部電源ケーブルの抜き差しは、必ず本体の電源をOFFにしてからおこなってください。

目次

目次

安全上のご注意

目次	5
使用前のご注意	6
機能と特長	8
1. お使いになる前に	9
付属品と取り付け方	9
各部の名前とはたらき	18
基本操作	22
特定小電力の通信制限について	26
2. 便利な機能	28
キーロック (2タイプ)	28
バッテリー警告機能	30
リセット	30
3. セットモード	31
セットモード一覧	31
各項目の設定方法	32
電池選択機能	33
コンバンダー機能	34
VOX機能	35

秘話機能 (スクランブルトーク)	36
ビーブ音量設定	37
エンドビー機能	37
ベル機能	38
ランプオン/オフ設定機能	38
PTT ホールド機能	39
PTT オン/オフ設定機能	40
4. 付録	41
各チャンネルの送受信周波数	41
トーン周波数一覧 (グループ番号)	42
オプション一覧	43
故障とお考えになる前に	44
定格 DJ-PA20	46

5

使用前のご注意

■ご使用環境

高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。

■分解しないで

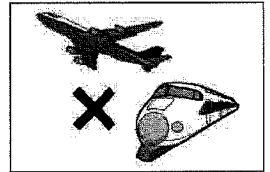
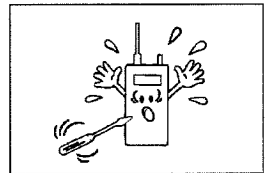
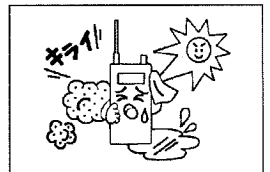
特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

■ご使用禁止場所

本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては悪影響を電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。（航空機内、空港敷地内、新幹線車内、中継局周辺、病院内など）

日本国内でのみ使用してください。

This product is permitted for use in Japan only.



6

■通信距離

通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。

- ・海上、山頂など条件のよい所 : 2kmまたはそれ以上
- ・河原など障害物のない平地 : 500m~1km程度
- ・見通しのよい道、郊外の住宅地 : 500m程度
- ・市街地のような障害物の多い所 : 200m程度

■障害物

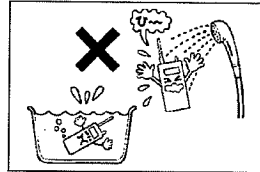
本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや橋脚、または山や丘陵等の障害物があると通信できる距離が短くなります。



■水につけないで

日常生活防水仕様になっておりますが、雨の中での使用や、直接水につけて使用されると故障の原因となります。

なお、水、雪や汚れなどが付いたときは手早くふき取ってください。



7

8

1 お使いになる前に

付属品と取り付け方

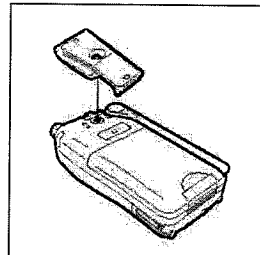
開梱しましたら、付属品を確認してください。

- ☐ ベルトクリップ (ビス1本)
- ☐ ハンドストラップ
- ☐ 取扱説明書 (本書)
- ☐ 保証書

注意 保証書に購入の日付が記載されていないときは、レシートを保証書と一緒に保管してください。ご購入日が証明できる書類が無いと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

■ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップを本機の背面に取り付けます。
確実に取り付けたことを確認してください。



※モ ベルトクリップは消耗品で、スベアを部品として販売しています。本体をお買い求めの販売店にご相談ください。

1

1

機能と特長

- ・選べるカラーバリエーション
- ・回転収納アンテナ採用
- ・交差通話用20CHを搭載
- ・音声通話の明瞭度を上げるコンバンダー機能*を搭載
- ・見やすい大型ディスプレイ採用
- ・日常生活防水仕様で携帯に便利なコンパクトボディ
- ・オプションのLi-Ion充電電池、Ni-Cd充電電池に対応

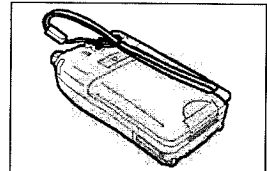
(*コンバンダー機能は対応機種間のみに有効です。)

お使いになる前に

■ハンドストラップの取り付け

本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に右図のように取り付けます。

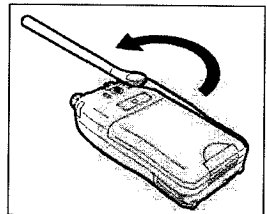
※モ ベルトクリップとハンドストラップ両方取り付ける場合には、先にハンドストラップを取り付けてからベルトクリップを取り付けてください。



■アンテナの立て方

アンテナは回転式になっています。
ご使用の際には必ずアンテナを立ててください。

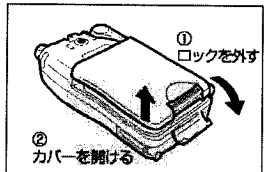
注意 アンテナを回すときはゆっくりと接点を回して回してください。アンテナやハンドストラップの端を持って本体を振り回したり、投げたりしないでください。けがや故障、破損の原因になります。アンテナは電波法上、取り外せない構造になっています。



■乾電池の入れ方

①カバーを開ける

ロックを外してカバーを開けます。



9

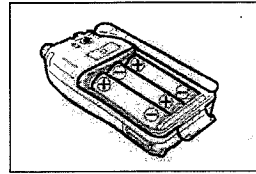
10

②電池を入れる

市販の単三形乾電池3本を、ケース内側の「+」、「-」表示にしたがってセットします。

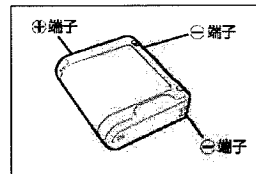
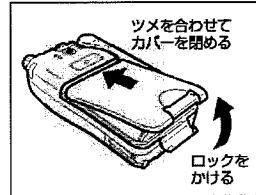
注意

+/−の向きが違わないように注意してください。
電池は同じ種類の新しいものを使用してください。アルカリやオキシライドなど、高性能の乾電池の使用をおすすめします。
市販の単三形充電電池は使用しないでください。
長期間使用しない場合は電池を取り外してください。
電池の交換は、外部電源を外し、本体の電源をOFFにしてから行ってください。



③カバーを閉める

ツメを合わせてカバーを閉め、ロックをかけます。
きちんと閉まっていることを確認してください。



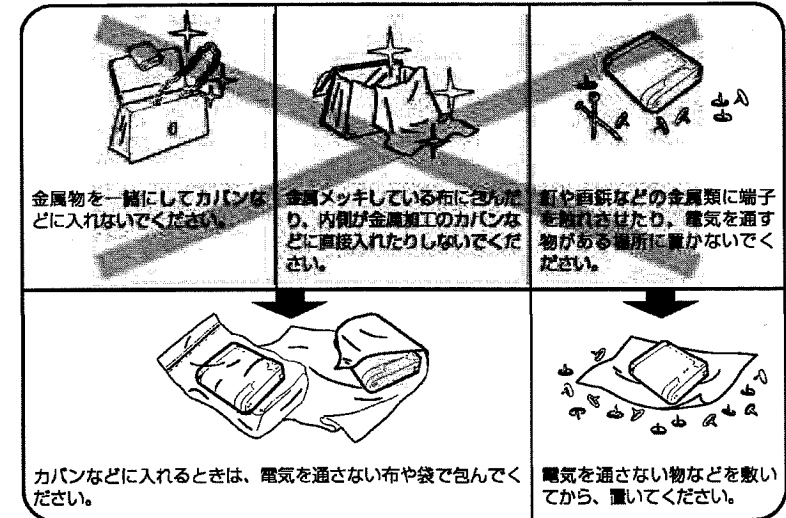
■バッテリーパックのショート防止のご注意

バッテリーパックを持ち運ぶときには、端子がショートしないようにビニール袋に入れるなど注意してください。(P.12)
ショートすると、大電流が流れて火傷や火事を起こす危険があります。

11

■バッテリーパックの保管と携帯について

バッテリーパックを保管、携帯するときは、以下のことに注意してください。



12

■バッテリーパック (オプション)

バッテリーパックは出荷時には十分に充電されていません。お買い上げ後に満充電してからご使用ください。

ニッカドバッテリーパック : EBP-25N (3.6V 700mAh)
リチウムイオンバッテリーパック : EBP-70 (3.7V 1000mAh)

●バッテリーパックの充電方法

バッテリーパックと充電器の適切な組合せについては、下図を参照してください。
○の組合せが使用できます。(約…時間)は、空のバッテリーパックを満充電するのに必要な時間を示します。

充電器	バッテリーパック	ニッカドバッテリーパック EBP-25N	リチウムイオンバッテリーパック EBP-70
EDC-109J ツイン急速充電器セット		○ (約2時間)	
EDC-115 標準充電器セット		○ (約12時間)	
EDC-158A ツイン急速充電器セット			○ (約2.5時間)
EDC-158R 連結充電スタンド			○ (約2.5時間)
EDC-162 大容量ACアダプター (連結充電用)			

注意

連結充電スタンド (EDC-158R) を2台以上連結して充電する場合、必ず大容量のACアダプター (EDC-162) が必要となります。

メモ

EDC-162で最大4台の連結充電スタンド (EDC-158R) を連結して、一度にトランシーバー8台まで充電することができます。

13

●充電器の使用法

注意 本書の「警告」(P.1)、オプションの取扱説明書の「ご使用になる前に」と「充電時のご注意」をご使用前に必ずお読みください。

□EDC-109J (ツイン急速充電器セット) による充電方法

付属品: ACアダプター、充電スタンド

①トランシーバー本体にニッカドバッテリーパック (EBP-25N) を装着します。

注意

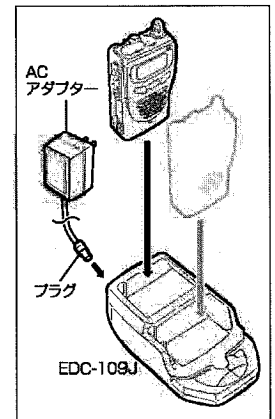
ニッカドバッテリーパックの極性に注意して装着してください。

②ACアダプターのプラグを充電スタンド背面のジャックに接続します。

③ACアダプターを家庭用電源AC100Vのコンセントに接続します。
(すべてのインジケーターが点灯したあと消灯します。)

④インジケーター側にトランシーバーの前面に向けた状態で充電スタンドのポケットに挿入します。(2台同時、または前後どちらかのポケットで1台でも充電可能です。)
充電スタンドのCHG ランプ (赤色) が点滅し、充電状態になります。

⑤充電が完了すると、CHGランプ (赤色) が消え、充電完了のFULLランプ (緑色) が点灯します。



14

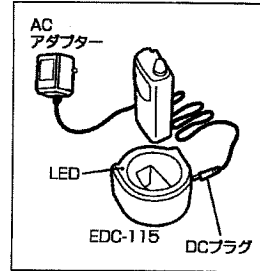
注意 保護回路が働いた場合、CHGランプ（赤色）とFULLランプ（緑色）が同時に点滅します。この場合、バッテリーパックが正しく装着されているか確認し、異常が見当たらないときは電池の消耗が考えられますので、バッテリーパックを交換してください。それでも正常に動作しないときは、使用を中止して当社サービスセンターへご相談ください。

□EDC-115（標準充電器セット）による充電方法 付属品：ACアダプター、充電スタンド

- ①トランシーバー本体にニッカドバッテリーパック（EBP-25N）を装着します。

注意 ニッカドバッテリーパックの極性に注意して装着してください。

- ②ACアダプターのプラグを充電スタンドのジャックに接続します。
- ③ACアダプターを家庭用電源AC100Vのコンセントに接続します。
- ④インジケータ側トランシーバーの前面を向けた状態で充電スタンドのポケットに挿入します。
充電スタンドのCHARGEランプ（赤色）が点灯し、充電状態になります。



メモ 赤色のランプは通電状態を示すもので、充電の状態にかかわらず、常に点灯しています。

15

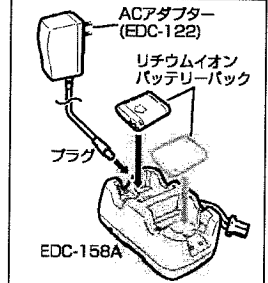
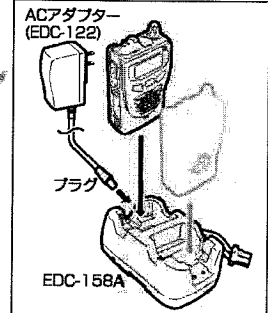
□EDC-158A（ツイン急速充電器セット）による充電方法 付属品：ACアダプター、充電スタンド

- ①トランシーバー本体にリチウムイオンバッテリーパック（EBP-70）を装着します。

注意 リチウムイオンバッテリーパックの極性に注意して装着してください。

- ②ACアダプターのプラグを充電スタンド背面のジャックに接続します。
- ③ACアダプターを家庭用電源AC100Vのコンセントに接続します。
- ④インジケータ側にトランシーバーの前面を向けた状態で充電スタンドのポケットに挿入します。（2台同時、または前後どちらかのポケットで1台でも充電可能です。）
充電スタンドの赤色ランプが点灯し、充電状態になります。
- ⑤充電が完了すると、赤色ランプが消灯します。

メモ トランシーバーから取り外してバッテリーパックのみを充電することもできます。バッテリーパックの極性に注意して装着してください。



16

□EDC-158R（連結充電用スタンド）による充電方法 付属品：接続ステー

EDC-158Rを使用して連結充電する場合、必ず大容量のACアダプター（EDC-162）が必要となります。

メモ トランシーバーから取り外してバッテリーパックのみを充電することもできます。

- ①ACアダプターがEDC-162であることを確認してください。
- ②スタンドのコネクタ同士を接続します。スタンドは最大4台まで接続できます。
- ③付属の接続ステーをスタンド底面の溝に合わせてスライドさせます。
確実にスタンド同士が固定されたことを確認してください。
- ④ACアダプターのコネクタを端のスタンドのコネクタに接続します。
- ⑤アダプターを家庭用電源AC100Vのコンセントに接続します。
- ⑥インジケータ側トランシーバーの前面を向けた状態で充電スタンドのポケットに挿入します。（DJ-PA20を最大8台まで一度に充電することができます。）
充電スタンドの赤色ランプが点灯し、充電状態になります。
- ⑦充電が完了すると、赤色ランプが消灯します。

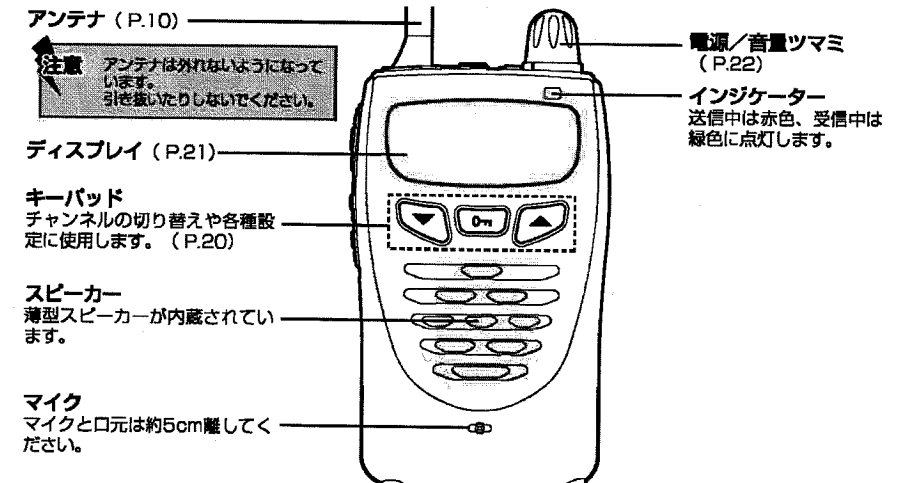


17

各部の名前とはたらき

本機の各部の名前とそのはたらきを説明します。

■前面部



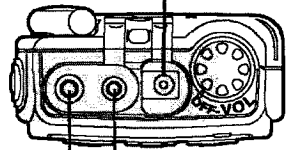
18

■上面部

外部電源端子

オプションのACアダプター (EDC-122) やシガーライターケーブル (EDH-33) が接続できます。

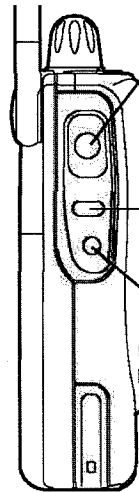
注意 外部電源のプラグの抜き差しは、本機の電源をOFFにしてからおこなってください。



イヤホン端子
イヤホンや外部スピーカーが接続できます。

マイク端子
外部マイクが接続できます。

■側面部



[PTT] キー
押すと送信します。離すと受信待ち受け状態になります。各種設定を確定する際にも使用します。

[MONI] キー
相手の音声が届くときに使用します。

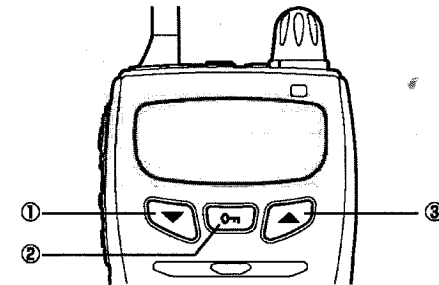
[F] キー
各種設定の開始に使用します。

1

19

1

■キー配置

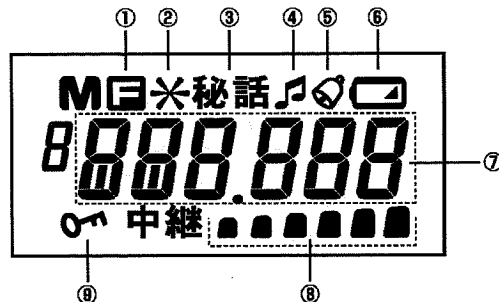


キー名称	機能
① ▼ (ダウン) キー	チャンネル番号を下げます。 ■点灯状態 (*1) ではグループ番号を下げます。セットモードの設定値選択 (P.31)、コールトーン機能 (P.24) にも使用します。
② [0-9] キー [GROUP] / [SET] キー	グループトーク機能に使用します。 約2秒押し続けるとキーロックができます。セットモードの項目選択にも使用します。
③ ▲ (アップ) キー	チャンネル番号を上げます。 ■点灯状態ではグループ番号を上げます。セットモードの設定値選択 (P.31)、コールトーン機能 (P.24) にも使用します。

*1: ■点灯状態とは、[F] キーを押してディスプレイに■を点灯させた状態です。

20

■ディスプレイ



説明
① [F] キーを押すと点灯します。
② VOX機能設定時に点灯します。(P.35)
③ 秘話機能設定時に点灯します。(P.36)
④ コンパンダー機能設定時に点灯します。(P.34)
⑤ ベル機能設定時に点灯します。(P.38)
⑥ 電池の残量を表示します。(P.30)
⑦ チャンネル番号、グループ番号、セットモード項目を表示します。
⑧ 受信信号の強さを表示します。(Sメーター)
⑨ キーロック中に点灯します。(P.28)

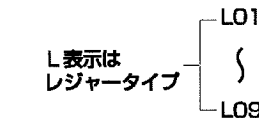
1

21

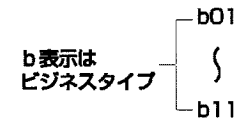
1

■チャンネル表示について

レジャー、ビジネス両方の20チャンネルを搭載しています。



L表示のチャンネルでは、従来のレジャータイプ (9チャンネル機) と通信できます。



b表示のチャンネルでは、従来のビジネスタイプ (11チャンネル機) と通信できます。

基本操作

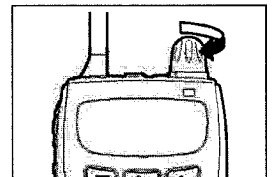
本機を使用する上で基本となる操作を説明します。

■電源を入れる

電源/音量ツマミを 方向に回し、電源を入れます。



※ [MONI] キーを押すと「ザー」というノイズが聞こえます。ノイズ音を目安にツマミを回すと調整しやすくなります。

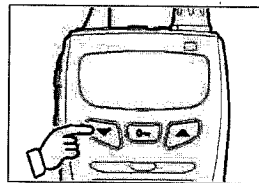


22

■チャンネルを合わせる

▲または▼キーで通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせます。L (レジャー)、b (ビジネス) の表示に注意して合わせてください。

メモ 押し続けると連続して変化します。



1

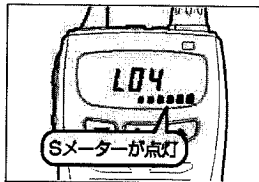
■受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。

→インジケーターが緑色に点灯し、ディスプレイのSメーターが点灯します。

メモ

- 相手の声が途切れる場合、[MONI] キーを押してください。聞きやすくなる場合があります。
- 押している間、インジケーターが緑色に点灯します。
- [F] キーを押しながら [MONI] キーを押すとモニター動作を保持します。同じ操作をおこなうと解除します。

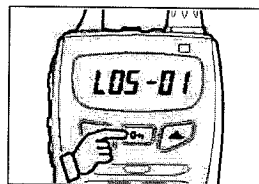


■グループ番号を合わせる (グループトーク機能を設定する)

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

① [GROUP] キー押す

→グループ番号が点灯します。



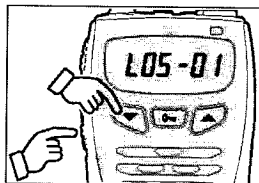
1

②グループ番号を合わせる

[F] キーを押しながら、▲または▼キーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じグループ番号に合わせます。

メモ

- グループ番号は、01～50の間で任意に設定できます。
- [F] キーを押したまま▲または▼キーを押し続けると連続して変化します。
- 他のグループの音が聞こえるときは、別のグループ番号に設定し直してください。

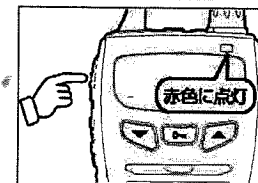


■送信する

信号を受信していないことを確認してから、[PTT] キーを押します。[PTT] キーを押したままマイクに向かって話します。

→インジケーターが赤色に点灯します。

メモ マイクと口元は約5cm離してください。



注意 一定強度以上の電波を受信しているときは、警告音「ブブブ」が繰り返し鳴ります。(P.27)

[PTT] キーを離すと、受信待ち受け状態になります。

■コールトーン機能

送信中に▲キー、▼キーまたは同時に押すと、呼び出し音が鳴り相手を呼び出すことができます。それぞれのキーで呼び出し音は異なります。

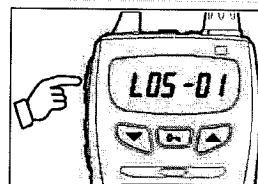
③送信する

[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。

→同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

メモ

- グループトークはトーンスケルチと呼ばれることもあります。
- グループトーク機能のないトランシーバーは通話音は聞こえますが、グループトーク機能を設定しているグループとは通話することができません。



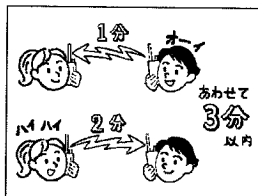
■特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

■3分制限 (3分以上は連続で送信できません)

送信、受信合わせて3分以内です。10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。

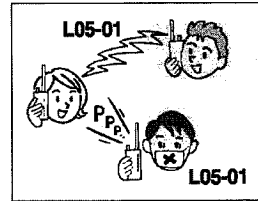
注意 3分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約2秒たないと次の送信はできません。



■キャリアセンス（受信中は送信できません）

一定の強さ以上の信号を受信しているときは〔PTT〕キーを押しても送信できません。
受信中に〔PTT〕キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意 ビープをOFFにしているとき、アラーム音は鳴りません。



1

27

2 便利な機能

本機を使用する際に便利な機能を紹介します。

2

■キーロック（2タイプ）

キーロックしておくと、誤操作などによる設定変更を防止できます。

メモ キーロック中でも、電源オン/オフ、送信、モニター操作は操作可能です。

■簡易キーロック

●キーロックする

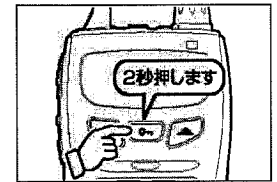
〔0-1〕キーを約2秒押します。

→「LoC-1」が点滅した後、0-1 が点灯します。

●キーロックを解除する

キーロック中に〔0-1〕キーを約2秒押します。

→0-1 が消灯しキーロックが解除されます。



28

便利な機能

■通常キーロック

●キーロックする

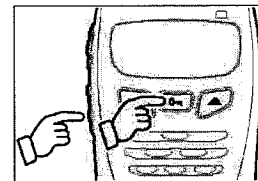
〔F〕キーを押しながら、〔0-1〕キーを約2秒押します。

→「LoC-2」が点滅した後、0-1 が点灯します。

●キーロックを解除する。

キーロック中に〔F〕キーを押しながら、〔0-1〕キーを約2秒押します。

→0-1 が消灯しキーロックが解除されます。



2

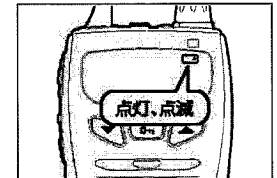
29

便利な機能

■バッテリー警告機能

電池の残量が少なくなると [] が点灯し、電池の交換時期が近づいていることをお知らせします。さらに残量が少なくなると [] が点滅します。
点滅しましたら、新しい電池と交換してください。

メモ オプションのニッケドバッテリーパック（EBP-25N）またはリチウムイオンバッテリーパック（EBP-70）をご使用の場合、セットモードの電池選択機能（P.33）で、使用する電池の種類を選択してください。バッテリー警告マークを交換時期に合わせて正しく表示することができます。



2

■リセット

設定状態などがわからなくなったときに初期化します。

〔F〕キーと〔MONI〕キーを同時に押しながら電源を入れます。

→ディスプレイ全点灯中に〔F〕キーと〔MONI〕キーを離します。



30

3 セットモード

各種機能を用途に合わせてより使いやすくするために、本機をカスタマイズすることができます。

セットモード一覧

	カスタマイズ項目	参照ページ	初期値
1	電池選択機能	P.33	AL
2	コンバンダー機能	P.34	OFF
3	VOX 機能	P.35	OFF
4	秘話機能	P.36	OFF
5	ピープ音量設定	P.37	Lo
6	エンドピー機能	P.37	ON
7	ベル機能	P.38	OFF
8	ランプオン/オフ設定機能	P.38	5秒
9	PTT ホールド機能	P.39	OFF
10	PTT オン/オフ機能	P.40	ON

P.32からP.40にセットモードの各項目の設定方法を記載しています。
なお、掲載しているディスプレイ表示は、工場出荷（初期）状態のものです。

3

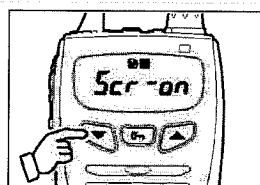
3

31

32

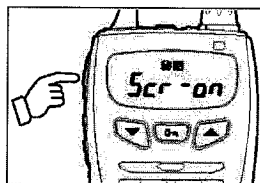
③設定値を変更する

▲または▼キーを押して設定値を変更します。



④設定を完了する

【PTT】キーを押して設定を完了します。



3

3

電池選択機能

オプションのバッテリーパック（EBP-25N, EBP-70）を使用する場合には、バッテリー警告マークを電池交換時期に正しく表示させるために使用する電池を選択してください。
初期状態ではAL（アルカリ乾電池）に設定されています。

bALt-AL

33

34

セットモード

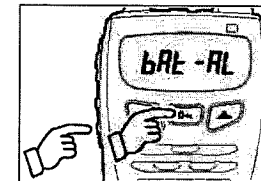
各項目の設定方法

セットモード共通の基本的な操作方法是次のとおりです。
各項目の詳細は、該当するページを参照してください。

①セットモードにする

【F】キーを押しながら、【SET】キーを押します。

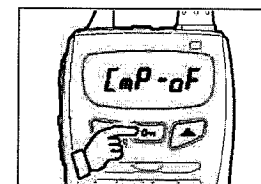
→セットモードに入り、カスタマイズできる項目が表示されます。



②カスタマイズ項目を選択する

【SET】キーを押すごとに項目が切り替わります。

【F】キーを押すと前項目に戻ります。



セットモード

●電池の設定をする

- ①セットモードにして「bALt」を選択します。
- ②▲または▼キーを押して「AL」「Li」「ni」の中から選択します。

AL：アルカリ乾電池／オキシライド乾電池
Li：リチウムイオンバッテリーパック（EBP-70）
ni：ニッカドバッテリーパック（EBP-25N）

コンバンダー機能

コンバンダー機能を設定すると、音声通話の明瞭度を上げることができます。

●コンバンダー機能を設定する

- ①セットモードにして「CmP」を選択します。
- ②▲または▼キーを押してON/OFFを設定します。

→コンバンダー機能設定時には、「♪」が点灯します。

CmP-on

注意 コンバンダー機能のないトランシーバーとも通話はできますが、音声が届き取りにくいことがあります。その場合にはコンバンダー機能をOFFに設定してください。

VOX機能

【PTT】キーを押さなくても自動的に送受信を切り替えられる機能です。マイクに音声が入れば送信、音声が無くなれば受信に切り替わります。ハンズフリーでの通話が可能になり両手が使えないときに便利です。初期状態ではOFFに設定されています。

●VOX機能の設定をする

- ①セットモードにして「Vo」を選択します。
- ②▲または▼キーを押して「oF Lo Hi」の中から選択します。

→VOX機能設定時には、「✱」が点灯します。

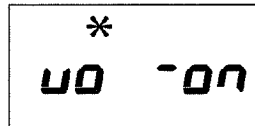
oF : VOX機能 OFF
Lo : VOX感度 小 (大きな音で反応します。)
Hi : VOX感度 大 (小さな音で反応します。)

オプションマイクでの使用方法

●EME-19A (ヘルメット用ヘッドセット) でVOX機能を使用する場合、

- ①セットモードVOX機能で「Lo, Hi」のどちらかを選択します。
- ②セットモードPTTオン/オフ機能でPTTオフを選択します。
- ③ヘッドセット側の黒ボタンは押し込んだままマイクに向かって話してください。

●VOX機能付きのマイク (EME-12A,13A,15A) でVOX機能を使用するときは、本体側のVOX機能はOFFにしてください。



3

3

35

36

注意

・VOX機能は一部のオプションマイクでは使用できません。P.43のオプション一覧表をご覧ください。
・VOX感度を「Lo」に設定しても、音声以外で送信してしまう場所ではこの機能はご使用になれません。

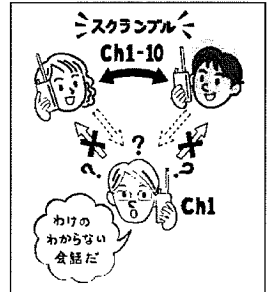
秘話機能 (スクランブルトーク)

スクランブルトークにすると、他の人には会話の内容が理解できなくなります。秘話機能を搭載した弊社製トランシーバー間で通話することができます。

●秘話モードにする

- ①セットモードにして「Scr」を選択します。
- ②▲または▼キーを押してON/OFFを設定します。

→秘話機能設定時には、「秘話」が点灯します。



ビープ音量設定

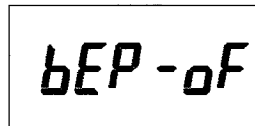
本機から鳴るビープ音 (操作音) の音量を設定します。初期状態では「Lo」が設定されています。

●ビープ音量の設定をする

- ①セットモードにして「bEP」を選択します。
- ②▲または▼キーを押して「oF Lo Hi」の中から選択します。

→「oF」に設定するとすべてのビープ音 (キー操作音、各種アラーム音、ベル音) が鳴らなくなります。
「Hi」に設定するとすべてのビープ音量が大きくなります。

注意 イヤホンを使用した状態でビープ音量を「Hi」に設定すると、大きな音で耳を傷める可能性がありますのでご注意ください。



3

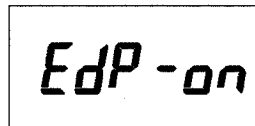
3

エンドビー機能

【PTT】キーを離したときの「ピッ」音のON/OFFを設定します。初期状態ではONに設定されています。

●エンドビーの設定をする

- ①セットモードにして「EdP」を選択します。
- ②▲または▼キーを押してON/OFFを設定します。



37

38

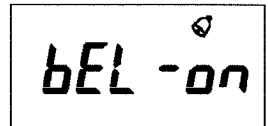
ベル機能

呼び出されたことを表示とベル音でお知らせします。初期状態ではOFFに設定されています。

●ベルの設定をする

- ①セットモードにして「bEL」を選択します。
- ②▲または▼キーを押してON/OFFを設定します。

→ベル機能設定時には、「ベル」が点灯します。



メモ

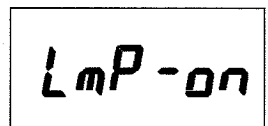
約10秒間通話が途切れたあとに受信したとき、ベルが作動します。

ランプオン/オフ設定機能

ディスプレイ照明を点灯させる機能です。初期状態では「5」秒に設定されており、キー操作をすると自動的に5秒間照明が点灯するように設定されています。

●ランプの設定をする

- ①セットモードにして「LmP」を選択します。
- ②▲または▼キーを押して「oF 5(秒) on(常時点灯)」の中から選択します。



注意 ディスプレイ照明を常時点灯させると電池の消耗が早くなります。

PTTホールド機能

[PTT] キーを一度押すと送信を継続する機能です。もう一度押すと受信待ち受け状態になります。この設定をおこなうことで、[PTT] キーを押し続ける必要がなくなります。
初期状態ではOFFに設定されています。

●PTTホールドの設定をする

- ①セットモードにして「Hld」を選択します。
- ②▲または▼キーを押してON/OFFを設定します。

Hld-on

メモ PTTホールド機能ONで送信した場合、3分送信のタイムアウト (P.26) 後、約2秒経過で自動的に送信を再開します。

注意 PTTホールド機能は一部のオプションマイクでは使用できません。
P.43のオプション一覧表をご覧ください。

3

3

39

40

4 付 録

本機の補足事項を記載しています。

各チャンネルの送受信周波数

■レジャーチャンネル

L01	422.2000MHz
L02	422.2125MHz
L03	422.2250MHz
L04	422.2375MHz
L05	422.2500MHz
L06	422.2625MHz
L07	422.2750MHz
L08	422.2875MHz
L09	422.3000MHz

■ビジネスチャンネル

b01	422.0500MHz
b02	422.0625MHz
b03	422.0750MHz
b04	422.0875MHz
b05	422.1000MHz
b06	422.1125MHz
b07	422.1250MHz
b08	422.1375MHz
b09	422.1500MHz
b10	422.1625MHz
b11	422.1750MHz

4

4

41

42

PTT オン/オフ設定機能

本機を受信専用で使用する場合に、送信を禁止する機能です。[PTT] キーを押しても送信できません。初期状態ではONに設定されています。

●PTT オフの設定をする

- ①セットモードにして「Ptt」を選択します。
- ②▲または▼キーを押してON/OFFを設定します。

→OFFに設定すると送信が禁止されます。

Ptt-off

トーン周波数一覧 (グループ番号)

番号	周波数	番号	周波数	番号	周波数	番号	周波数
01	67.0Hz	16	114.8Hz	31	192.8Hz	46	196.6Hz
02	71.9Hz	17	118.8Hz	32	203.5Hz	47	199.5Hz
03	74.4Hz	18	123.0Hz	33	210.7Hz	48	206.5Hz
04	77.0Hz	19	127.3Hz	34	218.1Hz	49	229.1Hz
05	79.7Hz	20	131.8Hz	35	225.7Hz	50	254.1Hz
06	82.5Hz	21	136.5Hz	36	233.6Hz		
07	85.4Hz	22	141.3Hz	37	241.8Hz		
08	88.5Hz	23	146.2Hz	38	250.3Hz		
09	91.5Hz	24	151.4Hz	39	69.3Hz		
10	94.8Hz	25	156.7Hz	40	159.8Hz		
11	97.4Hz	26	162.2Hz	41	165.5Hz		
12	100.0Hz	27	167.9Hz	42	171.3Hz		
13	103.5Hz	28	173.8Hz	43	177.3Hz		
14	107.2Hz	29	179.9Hz	44	183.5Hz		
15	110.9Hz	30	186.2Hz	45	189.9Hz		

オプション一覧

EBP-25N	ニッカドバッテリーパック
EBP-70	リチウムイオンバッテリーパック
EDC-115	EBP-25N用標準充電器セット
EDC-109J	EBP-25N用ツイン急速充電器セット
EDC-158A	EBP-70用ツイン急速充電器セット (EDC-122付属)
EDC-158R	EBP-70用連結充電スタンド
EDC-122	AC アダプター
EDC-162	EDC-158R連結充電用ACアダプター
EDH-33	シガーDC/DC コンバーター(12V/24V車対応)
EMS-59 (*1)	スピーカーマイク
EME-12A	VOX付きヘッドセット (ヘッドホンタイプ)
EME-13A	VOX付きヘッドセット (イヤホンタイプ)
EME-15A	VOX付きタイピンマイク
EME-19A (*2)	ヘルメット (安全帽) 用ヘッドセット
EME-21A	イヤホンマイク (業務仕様)
EME-23A	イヤホンマイク
EME-29A	イヤホンマイクイヤーフック付き (業務仕様)
EME-30A	イヤホンマイク (ブームマイク)
EME-31A	イヤホンマイク (タイピンマイク)
EME-6	イヤホン (ストレートコードタイプ)
EME-26	イヤホン (カールコードタイプ)
ESC-45	ソフトケース
EJ-57U	ユニバーサルコントローラー

注意 (*1) EMS-59 (スピーカーマイク) は、PTTホルド機能、VOX機能が使用できません。
(*2) バイク用ヘルメットには使用できません。

4

43

4

44

故障とお考えになる前に

本機が故障かなと思ったら、まずこちらをお読みください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	電池の入れ方が間違っている。(P.10) 電池が消耗している。	電池を正しく入れ直してください。 新しい電池と交換してください。 充電機を充電してください。
ディスプレイ表示が消える。	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。 充電機を充電してください。
音が出ない。 受信しない。	音量が低すぎる。(P.22) チャンネルが違う。(P.23) 距離が離れすぎている。(P.7) グループ番号が違う。(P.25) 送信している。	適切な音量に調整してください。 同じチャンネルに含わせてください。 場所を移動してから交信してください。 グループ番号を含わせてください。 [PTT] キーを離してください。 PTTホルド機能ONで送信中は、もう一度 [PTT] キーを押してください。
送信できない。	信号を受信している。(P.27) 通信制限時間を超過している。 PTTオン/オフ機能がOFFになっている。(P.40)	信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。 [PTT] キーを離し2秒たってから送信してください。 セットモードでPTTオン/オフ機能をONに設定してください。

症状	原因	処置
キー操作できない。 チャンネルが変わらない。	キーロックされている。(P.28)	キーロックを解除してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセット (初期化) してください。
症状が回復する場合があります。

電池が消耗していると、まれに誤動作することがあります。新しい電池に交換してください。

4

45

4

46

定格 DJ-PA20

送受信周波数	レジャーチャンネル	422.2000~422.3000MHz
	ビジネスチャンネル	422.0500~422.1750MHz
電波形式	F3E (FM) / F1D (FSK)	
送信出力	10mW	
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン	
受信感度	-14dBu以下 (12dB SINAD)	
中間周波数	1st IF 21.7MHz / 2nd IF 450KHz	
音声出力	100mW以上	
消費電流	送信時約60mA	
	受信定格出力時約90mA	
	受信待ち受け時約50mA	
	バッテリーセーブ時 (平均) 約20mA	
通信方式	単信方式	
定格電圧	DC4.5V	
外部電源端子	DC5.5V~DC6.0V EIAJ規格: 区分2	
動作温度範囲	-10℃~+50℃	
寸法	59 (W) × 101 (H) × 28 (D) mm (突起物除く)	
質量	185g (単三形乾電池3本含む)	

 アルインコ株式会社 電子事業部

東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番21号八重洲セントラルビル4階 TEL.03-3278-5888
大阪営業所 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目2番6号新ダイビル9階 TEL.06-4797-2135
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3番6号第3博多債成ビル7階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイヤル ☎ 0120-464-007

全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。

受付時間／10:00～17:00月曜～金曜(祝祭日及び12:00～13:00は除きます)

ホームページ <http://www.alinco.co.jp/> 【電子事業】をご覧ください。

PS0561
FNKK-NL